国語

二〇二四年度入学試験
二月一日　午後　解答用紙

受験番号

氏名

評点

一

(1) 器用　(2) 補足　(3) 深刻　(4) 孝行　(5) 模型

(6) 温暖　(7) 議論　(8) 幼い　(9) 蚕　(10) 治して

二

問一　世間

問二　ウ

問三　袋叩きにあう　こと。

問四　失敗しないための学問ではなく、創造的に生きるための哲学。 30

問五　原子力発電事業は絶対に失敗しないということ。 20

問六　失敗を徹底的に分析・整理して、その後の自分の人生の糧にする知識やノウハウをきちんと身につけるべき。

問七　エ

問八　イ

問九　ウ

問十　（解答略）

三

問一　A さばき　B たなびい　C せっつい

問二　エ

問三　かみなり　（問四別解）大介の予想に反して、高村が怒らなかったから。

問四　大介の発言に怒ると思ったのに、高村が笑ったから。 20

問五　役に立った

問六　1つ目　大したことない　もの。 10　2つ目　特段嬉しくはない　もの。 10

問七　成績が悪いといい大学に入っていい会社には入れない。そうしたら、将来は工場のねじまきかトラックの運転手になるしかない。 30 40 50 60

問八　例・工場のねじまきだって、トラックの運転手だって、みんな誰かの役に立っているんだ。馬鹿にするのはおかしいよ。

問九　X 大人　Y 子ども　（ガキ）も可

問十　包装紙は、大介がはじめて働いた三十円の大事な証だから。 10 20 30

（完答）

採点欄

一：⑤　③　⑥　④　②×2　③　④　②　③　②×3

二：⑩　③　③　③　⑤　④　④　③　②　③